

意見交換



1 WG設置の背景



なぜ、官民でデータ利活用が進まないのか



民間

- ✓ 個人情報とパーソナルデータの取扱
- ✓ ビジネスに役立つデータの公開、活用、メリット
- ✓ 他分野のデータと自社データを組み合わせることで生まれる、新ビジネスの創出
- ✓ 金になるデータ、公開する価値のあるデータ



行政

- ✓ 利用しやすいデータ作成方法の浸透
- ✓ データを公開するための職員の手間と時間の浪費
- ✓ データを公開することでメリットを受ける仕組み作り
- ✓ EBPM等、自らデータを活用する仕組みの確立
- ✓ 業務プロセスを含むデータの棚卸しの実施
- ✓ 所有データの可視化とニーズの把握

データを
公開する側も
メリットのある
データ利活用

「暮らし」「産業」「行政」における未来社会を、誰もが暮らしやすい社会とするために、インフラとしての使いやすいデータを流通させる必要がある。

データを公開するだけの時代は終了。データの「質」を上げよう

2 直近の国の動き

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」 (令和3年6月18日閣議決定)

デジタル庁を司令塔として、デジタル社会の形成に向けた官民の施策や取組を迅速かつ重点的に推進する観点から策定するもの。

国、地方公共団体、民間をはじめとする社会全体のデジタル化について関係者が一丸となって推進すべき取組を示す。

「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」

誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化

2 直近の国の動き

「デジタル社会の実現に向けた重点計画」
(令和3年6月18日閣議決定)

Society5.0実現するために

包括的データ戦略

- **トラスト**
データの信頼性を担保する基盤の確立
- **プラットフォーム**
「データ連携」とそれを「利活用したサービスを提供」する基盤の構築
- **データ取引市場とPDS・情報銀行**
- **基盤となるデータの整備**
ベースレジストリの整備、オープンデータの推進など

3 道における取組について

北海道Society5.0推進計画を策定し、10年後の未来社会において「暮らし」「産業」「行政」に未来技術を活用したデジタル社会の実現を目指す



より質の高い暮らしを
実現した
人間中心の社会



3 道における取組について

道内のデータ利活用の取り組みについては
先ほど説明したとおり

4 データ利活用の課題

企業

- 人材・ノウハウの不足
- 分析可能なデータが少ない
- 事業者ごとの蓄積・管理
- バラバラなルールによるデータ管理

- 目的の明確化
- 人的・物的・資金等のリソースを整備・確保
- 官民が連携し、企業間データの適切な取得・保有、使用、提供等の環境づくり

自治体

〔オープンデータ〕

- 法的位置づけ等の認識不足
- 民間のニーズが不明
- データ公開にかかる手間とコスト

〔EBPM〕

- 人材・ノウハウの不足
- データガバナンスの欠如

- オープンデータの意義、実作業について理解の促進
- 公開に手間のかからないシステムと一体化したデータ公開の仕組の構築
- 人材育成や品質管理、全庁的に統括するデータマネジメント等に向け、研修や組織・環境の整備等
- 業務プロセスとデータの棚卸し

5 データ利活用に向けた取組（案）

民間のデータ利活用の促進

- 中小企業経営者向けのセミナー・研修会の実施
- 中小企業若手向けのデータ利活用研修の実施、オープンデータの周知
- 企業間、分野間データ連携のためのルール整備
- 個人情報の保護、セキュリティの研修を実施

地方自治体のオープンデータの促進

- 未実施市町村への研修会、勉強会などの開催（北海道総合通信局と協力）
- 道及び市町村職員へオープンデータの周知、利用しやすいデータ作成の周知
- 業務プロセス及びデータの棚卸しの実施
- データ作成プロセスの見直しによる、データ作成及び公開コストの削減方策の検討
- 官民ラウンドテーブル等の開催による、民間ニーズの掘り起こし及びニーズ調査の実施

6 取組の方向性（案）

▶ 議論を踏まえた取組の方向性・検討課題（案）

● データ利活用の環境づくり

- 民間がデータを使うためのノウハウの構築を検討
- 企業間でデータを活用するための利用ルールや提供のためのルールを検討
- データ提供のための個人情報の保護、セキュリティの確保の検討（国の動きの把握）
- データ活用検証用のデータを提供してくれる民間企業の公募
→データをハッカソンなどで活用→データ活用事例の創出

● 行政オープンデータの推進

- 行政オープンデータに対しての民間ニーズの調査
- 庁内データの棚卸しの必要性
- 官民ラウンドテーブルの開催支援
- オープンデータアイデアソン・ハッカソンへの協力

民間のデータ利活用の促進

質の高い行政オープンデータの促進

本日、ご議論いただきたいこと

- データを活用するために必要なこと
- 行政が活用しやすいオープンデータを公開するために必要なこと
- 第2回WGに向けて

※ ご自由にご発言ください ※